

令和5年度・令和6年度
江戸川区ひきこもり実態調査の結果報告書



令和7年3月31日

江戸川区

目次

序章 はじめに	P.	1
第1節 はじめに	P.	2
第1章 調査の概要	P.	3
第1節 生活に関する調査のお願い調査概要	P.	4
1 調査名		
2 目的		
3 調査対象		
4 調査基準日		
5 調査方法		
6 調査世帯数・調査期間		
7 令和5年度 郵送調査・訪問調査、令和6年度 訪問調査の回答数		
8 区職員訪問調査、民生・児童委員聞き取り調査、ひきこもり施策係訪問調査の回答数		
第2節 ひきこもり実態調査結果（令和3年度・令和5年度・令和6年度）	P.	6
1 回答数		
2 ひきこもり「いる」の回答数及びひきこもりの状態にある人の人数（令和5年度・令和6年度）		
3 区が把握している、ひきこもりの状態にある人の人数		
第2章 調査結果	P.	8
第1節 調査に回答した方	P.	9
第2節 ひきこもりの状態にある人が求める必要な支援	P.	10
2-1 ひきこもりの状態にある人が回答した必要な支援		
2-2 ひきこもりの状態にある人からの意見		
第3節 家族がひきこもりの状態にある人に必要と考える支援	P.	13
3-1 家族が回答した必要な支援		
3-2 家族からの意見		
第4節 必要な支援の合計	P.	17
第3章 資料編	P.	18
第1節 調査対象世帯数根拠データ	P.	19
1 令和5年度 調査対象世帯数等		
2 令和6年度 調査対象世帯数等		
3 令和6年度 区職員訪問調査対象世帯数等		
4 令和6年度 民生・児童委員聞き取り調査対象世帯数等		
5 令和6年度 ひきこもり施策係訪問調査対象世帯数等		
第2節 関係資料	P.	21
1 送付状		
2 アンケート用紙		
3 訪問不在票		

序章 はじめに

第1節 はじめに

ひきこもりの状態とは、さまざまな事情から社会とのつながりを避け、家庭にとどまり続けていることをいいます。

ひきこもりの状態になる理由は、学校、仕事、人間関係の悩みや病気など人それぞれですが、重要なことは、ふとしたきっかけで誰もがこの状態を選択する可能性があるということです。

しかし、ひきこもりの状態は家庭外からの目が届きにくく、その状態となった背景や生活、考え方などが周囲に理解されづらいため、ときに偏見や誤解を受けてしまうことがあります。その結果、ひきこもりの状態にある人に「周囲の理解が得られない」という意識が生まれれば、周りにサポートを求めたくても声を上げられず、孤立を深めることにつながります。

こうした課題の解決を目指し、ひきこもりの状態にある人やその家族等の実態を把握し、必要なサポートを行う足がかりとするために令和3年度に約18万世帯を対象とした大規模なひきこもり実態調査「江戸川区からの調査のお願い」を実施しました。調査対象世帯の約57%にあたる約10万3千世帯から回答をいただき、7,919人のひきこもりの状態にある人を把握することができました。一方で、約7万7千世帯からは回答を得ることができませんでした。

区では令和2年度から個別相談支援を行っていますが、これまでの支援から相談につながるまでには時間がかかること、相談につながったら本人の意思を尊重し、つながり続けることが大切であることが見えてきました。こうした経験もあり、調査に回答をしない世帯の中にこそ、支援を必要としている世帯があるのではないかと、支援を求めたくても声をあげることができない世帯があるのではないかと強い信念のもと、令和5年度に「江戸川区からの調査のお願い」に未回答の世帯を対象とした「生活に関する調査のお願い」を行いました。既にひきこもり「あり」との回答も多数いただいております。必要な支援につながり始めています。この最初の一步を踏み出していただいた気持ちを大切に、安心して地域で暮らせるサポートに取り組んでいきます。

また、令和5年度には「ひきこもりの状態にある人が、地域の一員として、その生き方や価値観が尊重され、自分らしい暮らしを選択することができること」「ひきこもりの状態にある人等が、悩み又は不安を一人で抱え孤立することなく、区、区民等、事業者及び支援団体に相談し、その状況に応じた必要なサポート又は配慮を求めることができること」を基本理念として「ひきこもりの状態にある人やその家族等へのサポート推進条例」を制定しました。この基本理念の実現に向けて、ひきこもり支援施策の充実を図ります。

「生活に関する調査のお願い」の実施にご協力をいただいたひきこもりの状態にある人やその家族等の皆様をはじめ、多くの方に感謝申し上げます。

※本調査においては、ひきこもりの定義を「仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方」としています。

第 1 章 調査の概要

第1節 生活に関する調査のお願い調査概要

1 調査名

生活に関する調査のお願い（ひきこもり）

2 目的

ひきこもりの状態にある方で、自ら支援を求めることができない方を把握し、必要な支援につなげる
こと

3 調査対象

令和3年度ひきこもり実態調査に回答していない世帯で以下に該当する方を含む世帯

- ・給与収入で課税されていない方
- ・江戸川区の保健活動・生活保護等のサービスを利用していない方

4 調査基準日

令和5年12月1日

5 調査方法

年度	項目	調査方法
令和5年度	郵送調査	調査対象世帯の世帯主あてに調査用紙を郵送し回答を求めた
	訪問調査	令和3年度ひきこもり実態調査でひきこもりの状態の方が多かった40代、单身の方に訪問調査を行った
令和6年度	訪問調査	令和5年度郵送調査で回答が無かった世帯へ訪問し回答の促しを行った
	区職員訪問調査	令和5年度訪問調査・令和6年度訪問調査の中で緊急性が高い世帯を抽出し、再度区職員による訪問調査を行った ※病院受診・ワクチン接種等の利用、給与収入で課税されている世帯を除く
	民生・児童委員聞き取り調査	区職員の訪問調査で未回答であった世帯を、民生・児童委員に聞き取り調査し現況確認を行った
	ひきこもり施策係訪問調査	民生・児童委員聞き取り調査で実態が把握できなかった世帯の中で物価高騰負担軽減給付金を受給していない世帯を抽出し、再度ひきこもり施策係職員による訪問調査を行った

「江戸川区からの調査のお願い」「生活に関する調査のお願い」を通じて、訪問時の回答が困難な場合や、近隣からの情報提供により再訪問をするなど、訪問先の状況に応じて多い世帯では5回以上の訪問を行った。

6 調査世帯数・調査期間

- ・郵送調査 47,003 件

郵送日 : 令和6年1月31日

回答締め切り日: 令和6年2月29日

- ・訪問調査

	令和5年度	令和6年度
訪問調査世帯数	1,743 件	36,335 件
訪問開始日	令和6年2月13日	令和6年4月15日
訪問終了日	令和6年3月27日	令和6年8月13日

- ・令和6年度区職員訪問調査、民生・児童委員聞き取り調査、ひきこもり施策係訪問調査期間

	令和6年度 区職員訪問調査	令和6年度 民生・児童委員聞き取り調査	令和6年度 ひきこもり施策係訪問調査
訪問調査世帯数	1,292 件	1,108 件	23 件
訪問開始日	令和6年11月6日	令和6年12月12日	令和7年3月4日
訪問終了日	令和6年11月29日	令和6年12月27日	令和7年3月4日

7 令和5年度 郵送調査・訪問調査、令和6年度 訪問調査の回答数

- ・回収数 23,318 件（回収率 48.84%）

回答方法	令和5年度	令和6年度	合計
郵送回答	6,898 件	3,032 件	9,930 件
インターネット回答	2,853 件	1,089 件	3,942 件
訪問回答	161 件	9,162 件	9,323 件
電話回答	71 件	52 件	123 件
合計	9,983 件	13,335 件	23,318 件

8 区職員訪問調査、民生・児童委員聞き取り調査、ひきこもり施策係訪問調査の回答数

- ・回答数 176 件（回収率 13.62%）

回答方法	令和6年度 区職員訪問調査	令和6年度 民生・児童委員聞き取り調査	令和6年度 ひきこもり施策係訪問調査	合計
調査回答数	115 件	60 件	1 件	176 件

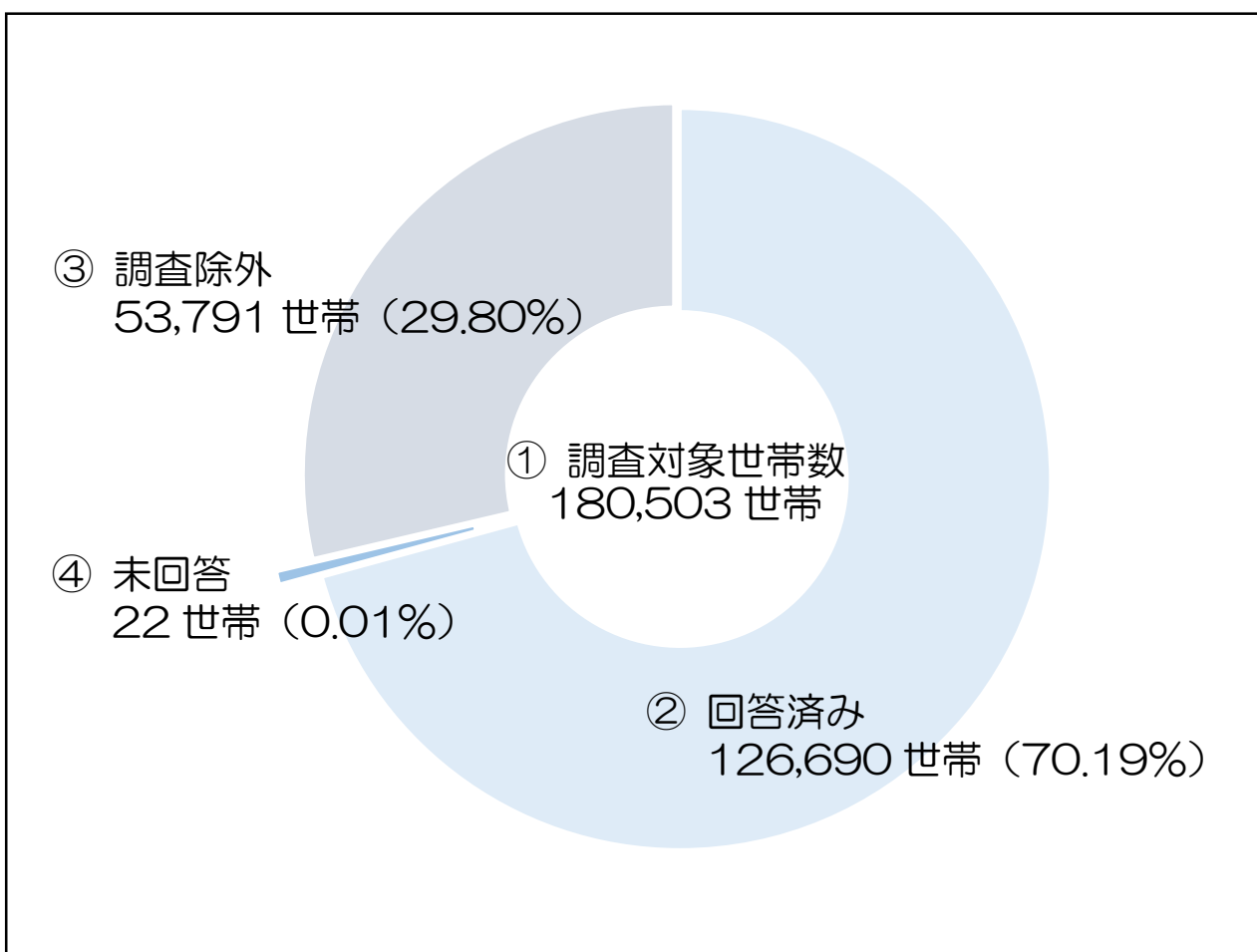
第2節 ひきこもり実態調査結果（令和3年度・令和5年度・令和6年度）

1 回答数 126,690 件

調査名	江戸川区からの調査のお願い	生活に関する調査のお願い			
実施年度	令和3年度	令和5年度 令和6年度	区職員訪問	民生・児童委員 聞き取り	ひきこもり 施策係訪問
対象世帯	348,084 件	77,307 件	24,421 件	1,177 件	1,048 件
調査除外世帯数	167,581 件	③ 29,568 件	23,129 件	69 件	1,025 件
調査対象世帯	① 180,503 件	※ 47,739 件	1,292 件	1,108 件	23 件
回答数	② 103,196 件	23,318 件	115 件	60 件	1 件
未回答	77,307 件	24,421 件	1,177 件	1,048 件	④ 22 件

※令和5年度調査開始時は48,746件であったが、令和6年度に転出等（1,007件）を除外し47,739件となった。

なお、令和5年度除外件数28,561件と令和6年度除外件数1,007件を合計し29,568件となった。



2 ひきこもり「いる」の回答数及びひきこもりの状態にある人の人数（令和5年度・令和6年度）

ひきこもりの状態にある人を抱える世帯数は 529 世帯、ひきこもりの状態にある人は 570 人いることが今回の調査で判明した。

- ・世帯にひきこもりの状態にある人がいますか

項目	郵送回答	ネット回答	訪問回答	電話回答	民生・児童委員 聞き取り	回答合計
いる	305 件	141 件	50 件	7 件	26 件	529 件
人数	332 人	152 人	51 人	8 人	27 人	570 人

3 区が把握している、ひきこもりの状態にある人の人数

- ・区が把握している、ひきこもりの状態にある人の人数 10,132 人

調査名	江戸川区からの 調査のお願い	生活に関する調査のお願い				ひきこもり 相談窓口 支援者数 (令和6年度)
実施年度	令和3年度	令和5年度 令和6年度	区職員訪問	民生・児童委員 聞き取り	ひきこもり 施策係訪問	
いる	7,604 件	503 件	5 件	21 件	0 件	
人数	※1 9,096 人	543 人	6 人	21 人	0 人	※2 466 人

※1 調査で判明した 7,919 人、教育委員会が把握していた不登校児童・生徒数 1,113 人、令和3年度時のひきこもり支援者数 64 人（実際の支援者数から調査で回答のあった重複人数を除く）を合算したもの

※2 実際の相談窓口支援者数から各調査で回答のあった重複人数を除いた人数

第2章 調査結果

【ひきこもり「いる」で回答した 529 件の集計】

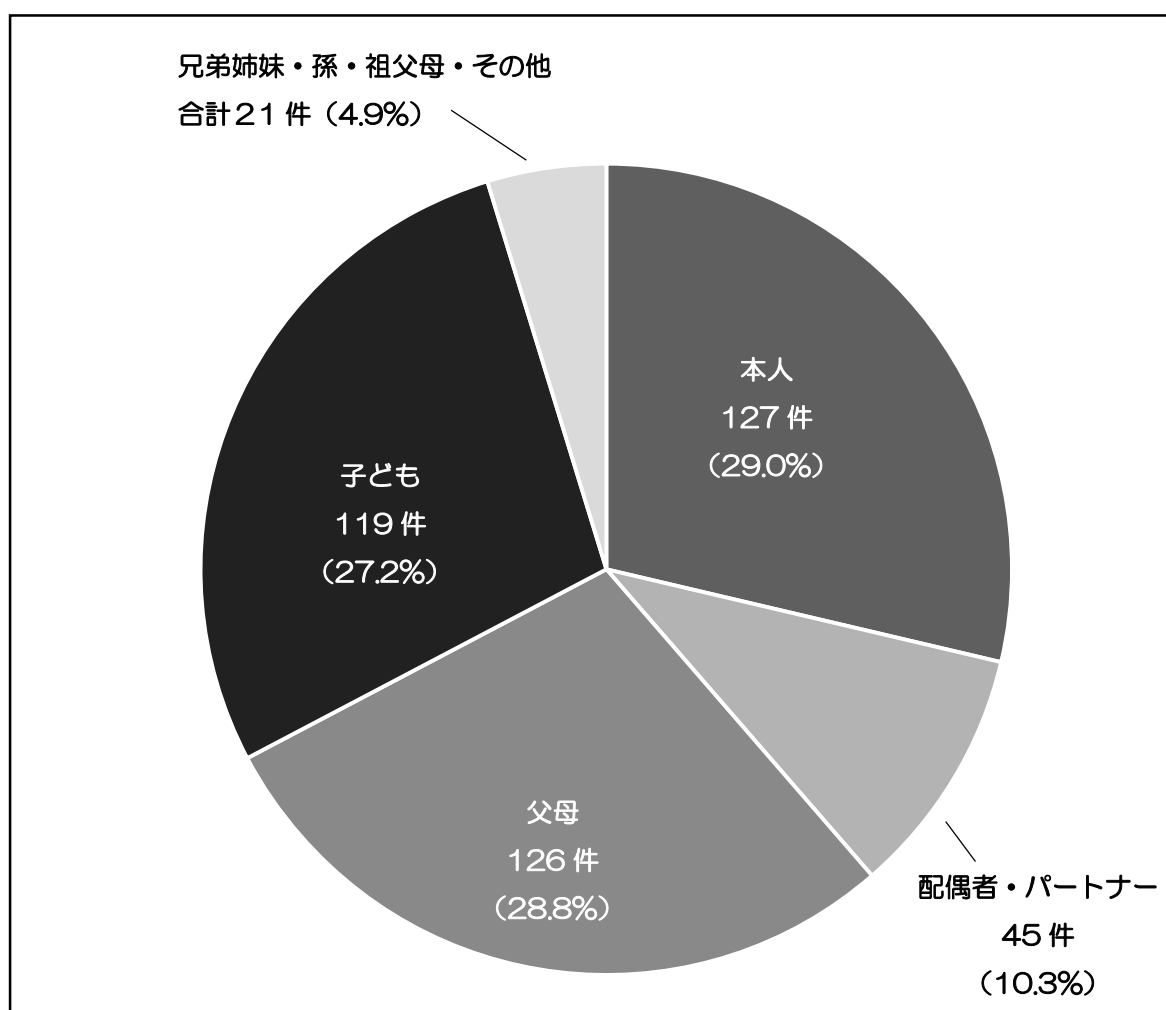
※調査用紙に一部未回答の項目があった場合においても、回答のあった項目については有効な回答として取り扱っている。そのため、各質問項目によって回答者数が異なっている場合がある。なお、それぞれの未回答者数は記載していない場合もある。

第1節 調査に回答した方（回答者からみたひきこもりの状態にある人の続柄）

- ・ひきこもりの状態にある人からの回答が一番多かった。

（件）

項目	郵送回答	ネット回答	訪問回答	電話回答	区職員訪問	回答合計	割合
本人	90	29	2	3	3	127	29.0%
配偶者・パートナー	32	13	0	0	0	45	10.3%
父母	85	37	2	1	1	126	28.8%
子ども	68	48	3	0	0	119	27.2%
兄弟姉妹	9	1	0	0	0	10	2.3%
子どもの配偶者	0	0	0	0	0	0	0.0%
孫	3	0	0	0	0	3	0.7%
祖父母	2	0	0	0	0	2	0.5%
その他	5	1	0	0	0	6	1.4%
合計	294	129	7	4	4	438	100.0%



第2節 ひきこもりの状態にある人が求める必要な支援（複数回答可）

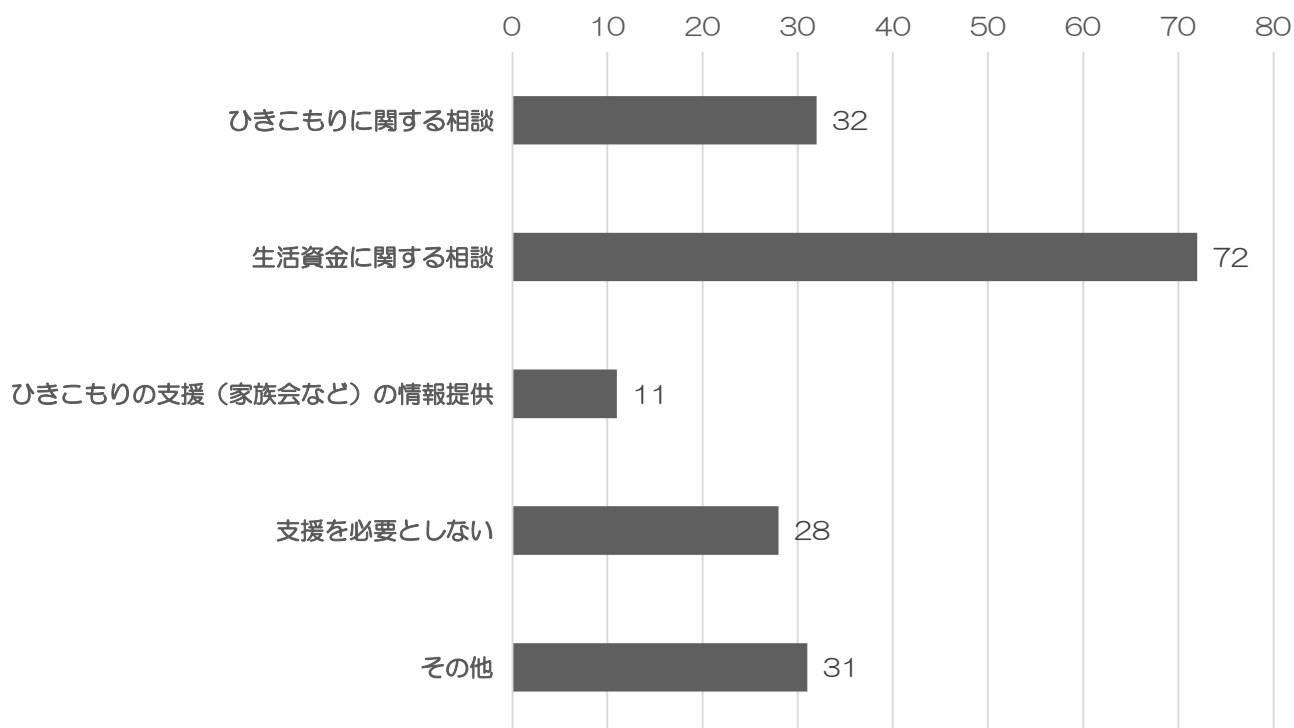
2-1 ひきこもりの状態にある人が回答した必要な支援

- ・ひきこもりの状態にある人は、生活資金に関する悩みを抱えていることがうかがえる。

（件）

項目	郵送回答	ネット 回答	訪問回答	電話回答	区職員訪問	回答合計	割合
ひきこもりに関する相談	21	7	2	2	0	32	25.2%
生活資金に関する相談	54	15	1	0	2	72	56.7%
ひきこもりの支援 （家族会など）の情報提供	9	1	0	1	0	11	8.7%
支援を必要としない	16	12	0	0	0	28	22.0%
その他	22	7	0	1	1	31	24.4%
合計	122	42	3	4	3	127	

（件）



2-2 ひきこもりの状態にある人からの意見

ひきこもりの状態にある人から寄せられた意見から、抜粋し以下のとおり分類し紹介する。

(1) 生活の不安

- ・今は支援を必要としていませんが、両親がいなくなっからの生活資金と生活が心配です。
- ・現在は大丈夫ですが、いずれ経済的に苦しくなるので心配です。働けるのか心配です。
- ・10年前に会社を退職し貯金で生活してきました。今は貯金も底をつき、国民健康保険に加入していないので病院にも行けません。不安です。
- ・高齢のため、外出出来ずにひきこもっています。
- ・ストレス等により病気が発症したため、あまり外出できません。また、数年前から、膝が痛く仕事にならず病院代がかさみます。
- ・数年前に身体障害者となり、出来る限り仕事をして来ましたが、コロナ禍頃から体調が悪化して働けず社会的約束ができません。
- ・寒さ・コロナ・高齢・膝痛・腰痛のため外出ができません。テレビの前で居眠り、読書、部屋の中はゴチャゴチャです。

(2) 就労の不安

- ・就労に対する不安、社会に対する不信感の解消、将来に対する不安などの支援が欲しいです。
- ・自称ひきこもり主婦です。パートをしていましたが、辞職を促される職場を点々としていました。平和に長く続けられる仕事を希望しています。
- ・就活がうまくいかずブランクもあり働くことに不安があります。
- ・仕事に不安を感じています。それにより働きに出られません。
- ・再就職しようにも専門としていたIT系は年齢的に厳しく、応募しても採用まで至りません。
- ・高齢のためなかなか仕事が見つからず、体もあまり元気ではないので内職等あれば良いのですが。
- ・大腸ポリープ手術のため職場を退職しました。再就職場所が見つかりません。
- ・現在、病気により、顔が歪み目も開かず仕事できません。
- ・認知症の母の介護に専念するため、私自身仕事を退職しました。今後の仕事の予定は未定です。
- ・仕事もしたいけど今はお金がなくて病院代もいろいろかかります。
- ・家庭外での交遊等は特に問題なくできており、就労に関してのみ影響がある状態です。
- ・仕事を探していますがなかなか見つかりません。
- ・働きたいです。

(3) 相談

- ・世帯主である親の晩年についてなど聞く先が欲しい。自分のこころの相談。色々不安はあるが漠然としている。今すぐ急な相談をしたいわけではない。一度相談したらガンガン来られたら怖い。
- ・母の在宅介護3年目で皆さんにお世話になっています。いつか介護が終わりましたら相談させていただきたいと思っております。
- ・うつ病の原因となった不当解雇を行った会社への法的相談。それにより支払いが滞って被った不利益への対処について相談したいです。
- ・現在の私の状況により妻からのハラスメントを受けています。相談をしたいです。
- ・災害や生活全般、困り事の相談をしたいです。

- 生活資金に困ったら相談させてください。
- ホームレスになったら相談に行きます。
- 生活の安定に関する相談と借金の返済について相談したいです。
- 色々相談には行くのですが、まともな回答が得られずとてもストレスになります。
- 父親が死んだら年金が無くなるので、生活資金に関する相談がしたい。

(4) その他

- 妻の給料でのやりくりとなり男として責任を感じて、うつ病のような感じです。
- 体調や社会体制により不必要な住民なので静かにしているだけです。
- 統合失調症で母以外の方と意思疎通が難しい状態です。治療で医療機関を受診し自分にとってはたくさんの人に会え、人に会うことの大切さを知り、充実した日々を過ごせ満足しました。現在では一人で曲を作り、それを発表する場所、コードを教えてもらえる所、メロディーを譜面に移す技術を学べる場所に通いたいと思っています。障害者が通える場所に通いたいです。
- 病気のため人との関わりが怖いです。
- 何日も人と話す事がないです。

第3節 家族がひきこもりの状態にある人に必要と考える支援（複数回答可）

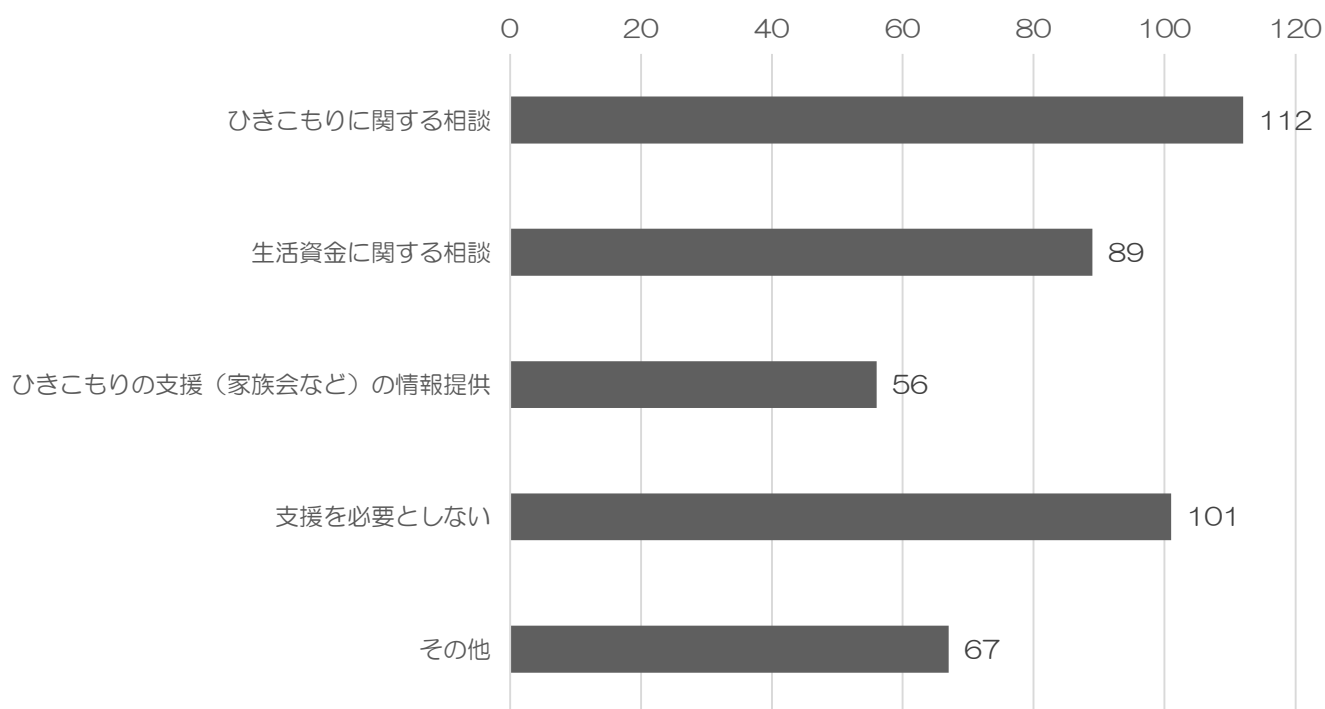
3-1 家族が回答した必要な支援

- ・家族は、ひきこもりに関する相談を求めていることがうかがえる。

（件）

項目	郵送回答	ネット 回答	訪問回答	電話回答	区職員訪問	回答合計	割合
ひきこもりに関する相談	84	23	4	1	0	112	36.0%
生活資金に関する相談	70	17	2	0	0	89	28.6%
ひきこもりの支援 （家族会など）の情報提供	48	7	1	0	0	56	18.0%
支援を必要としない	46	54	0	0	1	101	32.5%
その他	44	23	0	0	0	67	21.5%
合計	292	124	7	1	1	311	

（件）



3-2 家族からの意見

家族から寄せられた意見から、抜粋し以下のとおり分類し紹介する。

(1) 相談・支援に関する意見

- ・5年近く、ひきこもりで、関係機関に相談しているが、この先どうなるのか不安です。
- ・自分も病気です。心配しています。今すぐではないが、専門家のサポートが必要です。
- ・現在、90才になる両親が、面倒をみているが、兄弟ではサポート困難です。近い将来に相談支援を希望したい。
- ・精神的に限界にきて衰弱して救急車で運ばれ現在入院中です。退院した後のフォローと社会に出る為の支援に力を貸して欲しいです。家に居るようになって27年、今まで何度も社会に出ようとしたが失敗しました。
- ・現在、週に1、2回フリースクールに通っております。来年度中学3年になるため今後の進路をどうするか考えており相談したい。
- ・社会生活が送れるように支援お願いしたいです。
- ・外出しない為ストレスが溜まっている様で、私に喧嘩をふっかけてきます。相談したいです。
- ・現在は支援を必要としないが将来もしくは現在の支援内容を知りたいです。
- ・一人では外出できないが、まだ65才に達してしいないので介護保険適用外です。何か支援のスキームはありますか。
- ・大変です。助けてください。
- ・「ひきこもり支援の専門家に悩みを相談しませんか」に参加し、池上正樹さんとお話できて良かったです。ありがとうございました。その時にひきこもり相談窓口の担当の方とお話をさせて頂き、後日、相談に行きたいと思います。よろしくお願いします。
- ・二人の息子はほとんど家の中でごしてしていますが、家の中では話もするし、朝夕食作りは毎日つくってくれます。これだけは感謝です。私の仕事も終了してしまい、収入もなく大変です。相談をさせてもらい良い方向に向かえるようによろしくお願いいたします。
- ・10年くらい仕事もしないで家にいます。助けてください。
- ・ずっと布団の中にいます。本人に話しても「区に相談してもどうなるの?」と言っています。連絡先伝えるため封書は渡しました。
- ・声が出せません。相談したいです。
- ・就労をしていないだけで友人や家族とは外出できます。全く外部との繋がりを遮断していることは無いです。ただ、人間関係でのトラウマがあり就労したくてもできない状態です。何か支援があると良いかもしれません。
- ・本人の気持ちを第一に少しずつ社会に関われる様になって欲しいと考えています。
- ・積極的な支援は必要としていませんが信頼できる情報を収集できる仕組みがあると助かります。
- ・家族の中では普通に生活が来ています。会話もしています。本人が一步出ようとする気持ちだと思います。
- ・ひきこもりを改善しようとは思っていませんが、私に何かあった時に受けられる支援や公的補助などを相談したい。
- ・訪問看護・医療は、必要とないと本人が言うので受けていません。私が介護しています。最近、大分弱ってきています。どうしようか考えています。

(2) ひきこもりの状態にある人の生活と将来の不安

- ・自立できる様になってほしい。
- ・私がいなくなったらどうやって生活していくのか・・・
- ・コミュニケーション取れず心配です。何かの病気でしょうか。
- ・学校でイジメを受け、行く場所がありません。親は働きにも出られません。
- ・うつ病にて大学卒業後、就職せず、バイト、PC で生活。家庭の家事手伝いは、良くやってくれていますが、本人の将来が心配です。
- ・週に 1～2 回は外出していますが仕事をしてほしい。家族の希望です。家族との会話は必要な時だけします。
- ・たまに買い物に行きます。家事の多くをやってくれますが、仕事はしたくない。家族は諦めています。考えを変えさせることはできません。仕事をして結婚もしてほしい。
- ・本人は目標があって今もそれに向かって没頭していましたが、うまくいかず、結果ひきこもっています。いろいろ助言しましたが聞いてくれません。この件に関し電話又は訪問はしないでください。
- ・今は問題ないが、将来の生活について心配です。
- ・これからの将来が不安です。私は仕事に追われて相談するタイミングが作れません。

(3) 家族等が感じている負担

- ・長女と次女が中学校を不登校になっています。怒鳴ったり、叱ったりしませんが、すでに 2 年経過しているので親も疲れてきました。
- ・色々な病気があり、医療費が大変です。
- ・相談しても、ご自分で何とかしてくださいと言われてきました。相談する気力さえありません。
- ・私ひとりでは手に負えない時、警察や入院しか手段がなく、途方に暮れる時があります。
- ・去年から学校に通うのが困難になり通信の学校に転校しました。適応障害でした。自室よりリビングには来ることはできます。家族とも話せますが新しい環境に行くことは少し困難です。
- ・支援は必要ありません。が、たまにふとこのままでいいのかと悩むことはあります。
- ・今はどんな支援が適切なのかを考えられない。もう少し詳しく支援の情報を色々知りたいです。訪問や電話は困ります。
- ・何かきっかけがあればいいのですが、今は本人の気持ちを第一に見守っているところです。
- ・家では普通に過ごしているのに働く気が無いようです。

(4) その他

- ・昨年初めより、自分のことは自分で計画実行し、買い物などにも外出し、改善してきております。
- ・家庭内の生活は、出来ています。
- ・コロナで就職難民になりました。夫の体調が悪く、夜中も痛くて眠れていません。夫は、鍼・お灸・マッサージの免許を取得しており、夜中ずっと私が眠るまでリハビリマッサージをしてくれています。働いてはおりませんが、家族にとっては、大切な働きをしてくれており、誇りに思っています。
- ・コンビニや病院などは1人で行けます。
- ・買物とか、映画とかに自分なりに出掛けています。
- ・体の調子が悪く夜トイレに何回も行くので、一日中寝てばかりいます。ここ数年医者へ行く以外、出かけていません。
- ・今のところ学校へ行きたくない。何もしたくない状況です。見守ります。
- ・本人が安心して出かけて人と話す練習をしてほしい。友達が作れる交流会などの情報がほしい。
- ・外出せず寝ています。
- ・無職一人暮らしですが、体力的に外出が困難で、寝たきりではありませんが、長い時間座ってられません。食事などは、息子が運んでくれています。
- ・医療費に困っています。夫は仕事辞めて看護をしてくれています。
- ・食事が取れません。学校はテストの時だけ行っています。
- ・本人はこもりっぱなしでは無く自転車でたびたび出かけ、機会があれば1人暮らしを望んでいます。親は仕事で留守が多く、話しかけてもうるさがります。
- ・息子ひきこもり25年程
- ・オンラインでの交流があるとありがたいと思います。
- ・部屋にこもりきり食事と一緒に食べないです。
- ・医者と相談し今入院中。10年ほどひきこもり状態です。
- ・相談員は来ないでほしい。困ったら連絡します。
- ・子は完全なひきこもりではないのですが、学校に行けず色々悩んでいます。
- ・精神科の通院カウンセリングを利用して少しでも良い方向に向かう手立てを模索していますが、そう簡単に解決できる問題ではないと考えています。年齢もあり行政の支援を受けるのはなかなか難しいと思います。
- ・中学校でのいじめから不登校になりそのままメンタル不調のため学習の機会がほとんどないまま成長しています。学び直しの機会があれば良いと思います。
- ・仕事をしてもらいたいと思いますが再発すると怖いです。
- ・どこから手を付けていこうかと悩んでいます。
- ・人と話すのはしんどいです。
- ・今後支援が必要になるかもしれません。
- ・色々と考えを話し実行して来ましたが、本人は現状が楽なので変わりません。
- ・ニートのような生活に慣れ、何を言っても分からない子にどうしていいかも分かりません。
- ・第三者の方に話をしてもらっても上辺だけの返答をしてその場をしのぐ発言しかしません。
- ・子が数十年ひきこもり。相当前に会社でいじめにあい、ずっとひきこもっているが、世間体もあるので支援は必要ないです。

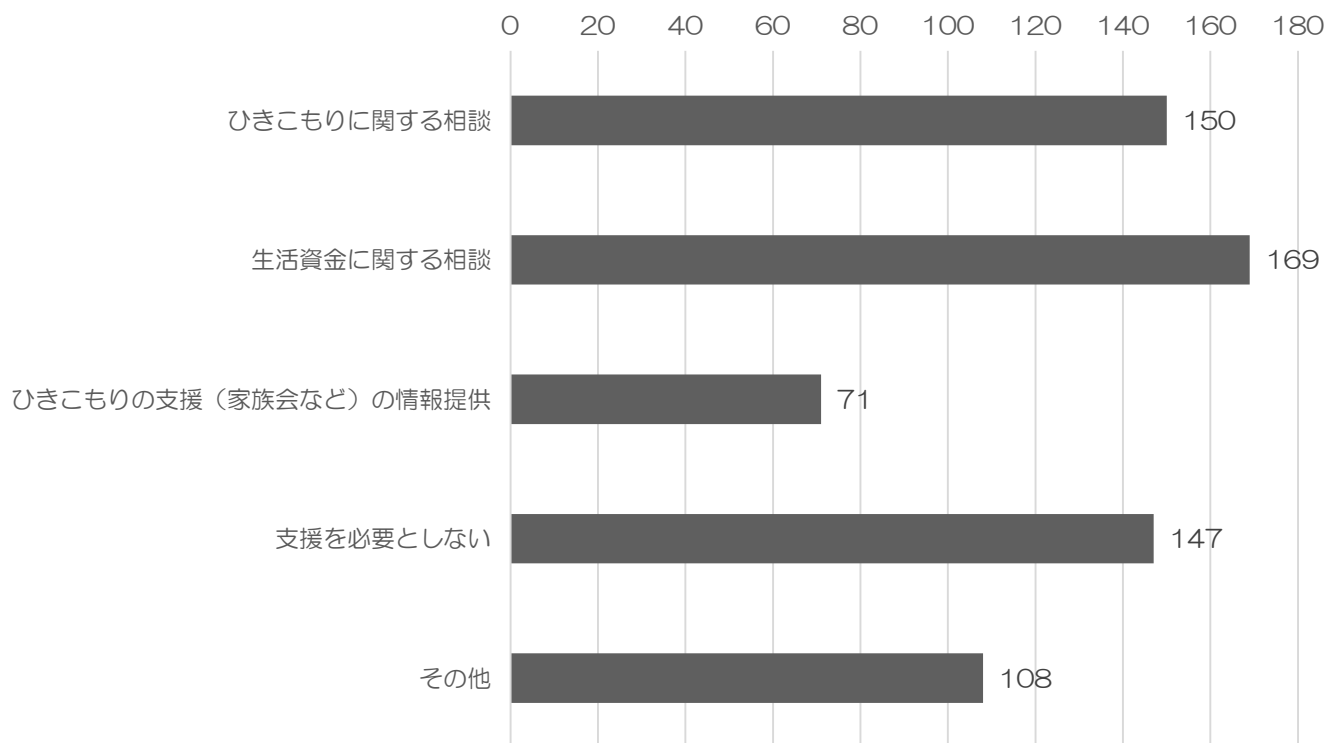
第4節 必要な支援の合計（複数回答可）

- ・ひきこもりの状態にある人及びその家族は、生活資金に関する相談が最多であった。

（件）

項目	郵送回答	ネット 回答	訪問回答	電話回答	区職員訪問	回答合計	割合
ひきこもりに関する相談	109	30	6	5	0	150	29.5%
生活資金に関する相談	130	33	3	1	2	169	33.3%
ひきこもりの支援 （家族会など）の情報提供	61	8	1	1	0	71	14.0%
支援を必要としない	67	75	3	0	2	147	28.9%
その他	71	35	0	1	1	108	21.3%
合計	438	181	13	8	5	508	

（件）



第3章 資料編

第1節 調査対象世帯数根拠データ

1 令和5年度 調査対象世帯数等

48,746 世帯…①

年度	項目	世帯数	郵送調査	訪問調査
令和3年度	未回答数	77,307 件		
令和5年度	調査除外世帯数 ※1	28,561 件		
	調査件数	①…48,746 件	47,003 件	1,743 件
	回答数	9,983 件	9,661 件	322 件
	未回答数	38,763 件	②…37,342 件	④…1,421 件

※1. 区転出者、生活保護受給者、給与収入で課税されている方、ひきこもり相談支援利用者、保健活動支援者、令和5年度民生・児童委員訪問調査対象者

2 令和6年度 調査対象世帯数等

36,335 世帯…③

年度	項目	世帯数	郵送調査	訪問調査
令和5年度	未回答数（郵送調査）	②…37,342 件		
令和6年度	調査除外世帯数 ※2	1,007 件		
	調査件数	③…36,335 件	0 件	36,335 件
	回答数	13,335 件	0 件	13,335 件
	未回答数	④…23,000 件	0 件	23,000 件

※2. 令和5年度ひきこもり実態調査実施後の区転出者

3 令和6年度 区職員訪問調査対象世帯数等

1,292 世帯…⑤

年度	項目	世帯数	郵送調査	訪問調査
令和6年度	未回答数（郵送調査）	④…24,421 件		
	調査除外世帯数 ※3	23,129 件		
	調査件数	⑤…1,292 件	0 件	1,292 件
	回答数	115 件	0 件	115 件
	未回答数	⑥…1,177 件	0 件	1,177 件

※3. 課税世帯、民生・児童委員訪問調査対象、給付金受給、新型コロナワクチン接種、医療機関受診者

4 令和6年度 民生・児童委員聞き取り調査対象世帯数等

1,108 世帯…⑦

年度	項目	世帯数	郵送調査	訪問調査
令和6年度	未回答数（郵送調査）	⑥…1,177 件		
	調査除外世帯数 ※4	69 件		
	調査件数	⑦…1,108 件	0 件	1,108 件
	回答数	60 件	0 件	60 件
	未回答数	⑧…1,048 件	0 件	1,048 件

※4. 令和5年度ひきこもり実態調査実施後の区転出者、ひきこもり相談支援利用者

5 令和6年度 ひきこもり施策係訪問調査対象世帯数等

23 世帯…⑨

年度	項目	世帯数	郵送調査	訪問調査
令和6年度	未回答数（郵送調査）	⑧…1,048 件		
	調査除外世帯数 ※5	1,025 件		
	調査件数	⑨……23 件	0 件	23 件
	回答数	1 件	0 件	1 件
	未回答数	22 件	0 件	22 件

※5. 物価高騰負担軽減給付金受給

【調査世帯数特記事項】

- ①令和5年度調査対象世帯数：令和3年度実態調査未回答世帯数から令和5年度調査除外世帯数を除いたもの
- ②令和5年度郵送調査の未回答世帯数
- ③令和6年度調査対象世帯数：「②令和5年度郵送調査の未回答世帯数」から令和6年度調査除外世帯数を除いたもの
- ④令和5年度・令和6年度訪問調査未回答世帯数：令和5年度の訪問調査未回答世帯数と令和6年度の訪問調査未回答世帯数を合計したもの
- ⑤令和6年度区職員訪問調査対象世帯数：「④令和5年度・令和6年度訪問調査未回答世帯数」から令和6年度区職員調査除外世帯数を除いたもの
- ⑥令和6年度区職員訪問調査未回答世帯数
- ⑦令和6年度民生・児童委員聞き取り調査対象世帯数：「⑥令和6年度区職員訪問調査未回答世帯数」から令和6年度民生・児童委員聞き取り調査除外世帯数を除いたもの
- ⑧令和6年度民生・児童委員聞き取り調査で把握できなかった世帯
- ⑨令和6年度ひきこもり施策係訪問調査対象世帯数：「⑧令和6年度民生・児童委員聞き取り調査で把握できなかった世帯数」から令和6年度ひきこもり施策係訪問調査除外世帯数を除いたもの

第2節 関係資料

1 送付状（表面）



生活に関する調査のお願い（ひきこもり）

区民の皆さまの生活を向上させるため 調査にご協力ください

江戸川区では、令和5年11月6日に「ひきこもりの状態にある人やその家族等へのサポート推進条例」が制定されました。この条例の基本理念に基づき、ひきこもりの状態にある人やその家族等が地域から孤立することなく、必要なサポートを求めることができるよう、生活に関する調査（ひきこもり）を行うこととなりました。

1. 調査対象 令和3年度に送付したひきこもり実態調査に回答していない方など
2. 調査項目 ひきこもりの状態にある人やその家族等への支援の希望について
※ひきこもりの状態とは…様々な事情によって社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊等）を避け、おおむね家庭にとどまり続けている状態またはこれに近い状態にあるものをいう
3. 記入方法 記入は濃い鉛筆で、□に✓をお願いします。
4. 回答方法 令和6年2月29日（木）までに、区公式ホームページ・二次元コードからご回答ください。なお、同封のハガキに必要事項を記入し、個人情報保護シールを貼付け、ポストに投函することもできます。
5. 問い合わせ先 江戸川区福祉部生活援護第一課調査実施本部
TEL 03-5662-4170
FAX 03-3651-0295
電話受付時間 9:30～16:00
(12:00～13:00、土・日・祝日を除く)



二次元コードから回答できます

江戸川区政へのご理解、ご協力をお願いします。

本調査は、整理番号で世帯を把握しています。
期限内に、ご回答のない世帯へご連絡をさせていただきます。

ひきこもり相談

ひきこもりで悩んでいませんか？

江戸川区では、ひきこもりの状態に悩む人やその家族等の気持ちに寄り添いながらサポートを行っています。

ひきこもり相談支援

電話・面談・訪問などによる相談を行いながら必要な支援と一緒に考えていきます。

地域家族会 エバーグリーン

同じ悩みを抱える家族同士が交流し、思いを共有することができる場です。

オンライン居場所

ひきこもりの状態に悩む人が交流できる居場所です。リアル会場とオンライン会場で同時に開催します。

当事者・家族向け 対話交流会

ひきこもりの状態に悩む人や家族向けに講師との交流会を行います。

ひきこもり講演会

ひきこもりの状態にある人への理解の促進と支援を推進するために講演会を開催します。

問い合わせ先 ひきこもり相談窓口 03-5662-0363

相談時間 8:30～17:00

土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く

くらしごと相談

生活のことなど、様々なことでお困りの方のご相談を受け、問題解決のための支援を行います。

仕事をしたいが働くことに不安がある

なかなか仕事が見つからない

今後の生活に不安...

子どもの将来に不安がある

突然の出費にどうしてよいかわからない

ひきこもりの家族がいる

家賃の支払に困っている

くらしごと相談室

問い合わせ先 くらしごと相談室 中央 03-5662-0085
くらしごと相談室 小岩 03-5876-7730
くらしごと相談室 葛西 03-5659-6626

相談時間 8:30～17:00

土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く

2 アンケート用紙

該当する□に✓(チェック)を入れてください。

1. 世帯にひきこもりの状態にある人がいますか。

☐ いる (人) ☐ いない

「いる」を選択した方はご記入ください。

フリガナ	
記入者氏名	
ひきこもり状態の 人との関係（続柄）	
電話番号	

2. 必要な支援に✓を入れてください。(複数回答可)

- ☐ ひきこもりに関する相談
- ☐ 生活資金に関する相談
- ☐ ひきこもり支援(家族会など)についての情報提供
- ☐ 支援を必要としていない
- ☐ その他

3 訪問不在表

「生活に関する調査」 ご回答のお願い

本日は、ご回答のお願いに参りましたが、ご不在でしたので、本紙を同封させていただきます。

大変お手数ですが、区民の皆さまの生活を向上させるため調査にご協力ください。

調査内容については同封物をご確認ください。

訪問日：令和6年 月 日 時 分ごろ

【本報告書に関する留意点】

- 回答の重複について

本調査は調査票での郵送回答およびインターネット回答を実施した。よって、郵送とインターネット複数の回答がある場合は、收受日から判断し直近の回答を有効回答とした。

- 一部未回答の調査用紙の処理について

調査用紙に一部未回答の項目があった場合においても、回答のあった項目については有効な回答として取り扱っている。そのため、各質問項目によって回答者数が異なっている場合がある。なお、それぞれの未回答者数は記載していない。

- 図表の単位について

報告書に掲載した図表の単位のうち、単位の記載のないものは、「件」（回答数）をあらわしている。また、回答比率（％）は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100％にならないことがある。



令和5年度・令和6年度
江戸川区ひきこもり実態調査の結果報告書

発 行 令和7年3月

発行者 江戸川区

事務局：江戸川区福祉部生活援護管理課ひきこもり施策係

〒132-0035 東京都江戸川区平井6丁目1番17号（旧平井第二小学校）

TEL 03-6657-4670 FAX 03-6657-1134